

えっー。これって本当にエコなの？

二酸化炭素(CO₂)の増加が気温上昇を招き、気候変動など世界に大きな影響を与えていると言われます。私たちの生活でも二酸化炭素を削減するためにエコバックの利用や節水、フードロスを減らすなどのエコ生活が求められています。今号では、エコ生活の一例を検証してみましょう。

★エコバックはホントにエコ？長く大切に使うこそエコに！

レジ袋が有料化され、エコバックを持ち歩く人が増えています。でも、二酸化炭素(CO₂)は具体的にどのくらい排出削減できているのでしょうか。なぜなら、エコバックを製造するにも二酸化炭素が排出されています。

原料調達から加工、製造、流通などの各段階でエネルギーを消費し、二酸化炭素を排出して製品がつくられ、私たちの手元に届きます。

素材によりますが、エコバックはレジ袋の50～150倍のCO₂を排出し、50回～150回以上使わないとレジ袋よりも二酸化炭素を多く排出していることとなります(NHK クローズアップ現代より)。また、あるレポートによると、オーガニックコットンバッグは2万回以上使わないと意味がないとも言われています。エコバックも素材に気をつけて、長く大切に使うことが環境保全につながると言えましょう。



★リサイクルも環境負荷を考えて！

お弁当を買って残るプラスチックやお醤油の容器ですが、リサイクルに出していると思います。でも、せっかく分別しても、汚れがひどい場合や異物が混入していると資源としてリサイクルできません。水で洗って、目で見て汚れが見えない程度に食器洗いの残り水などですすいで出しましょう。乾かしてだせばベストです。

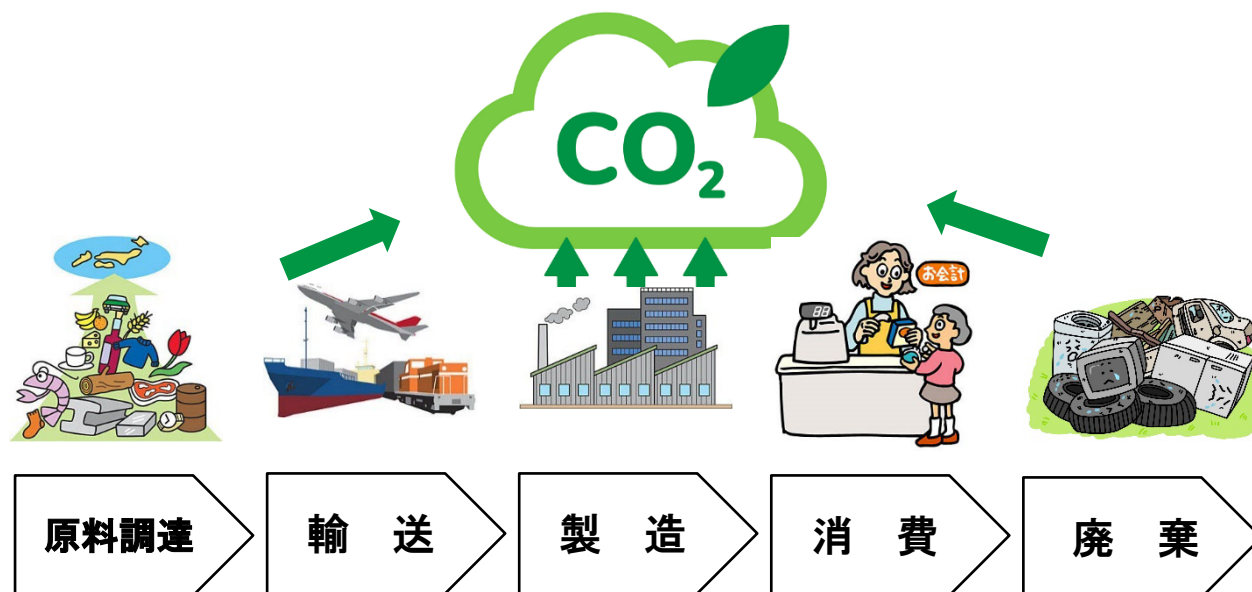
でも、汚れのひどい醤油の容器などを洗って出すよりも「燃えるごみ」として出した方がよい場合もあります。なぜなら、水道水も浄水場でエネルギーが消費されていますし、まして、お湯で洗えばさらにエネルギーひいてはCO₂排出が増えるからです。リサイクルにも背後に見えないCO₂の排出があり、全体の環境負荷を考えて行動する必要があるのです。



◆環境問題もライフサイクル的思考を大切に！

環境負荷を考えると、ある製品の製造（製造時の資源・エネルギー消費など）から使用（利用）の環境負荷、そして廃棄（廃棄処理される時の環境負荷）までの「一生（ライフサイクル）」における環境の影響を考えましょう。

一部分をとらえて環境にやさしいと思っても、実は、ライフサイクルから見たとき本当にエコとは限らないのです。



3月の予定（3月10日～4月9日開催） ※申込が必要な行事もありますので、必ず問い合わせをしてください。

月日	時間	行事名	場所	対象	申込有無・参加費	問合せ先
3/14(火) 3/22(水) 4/7(金)	9:00～17:00	一般開放「フットサル(午後)・フリースペースなど」	つどーむ	どなたでも	中学生以下 無料	つどーむ 784-2106
3/10(金)～ 4/9(日)	利用日時はお問い合わせください	ランニングコース	つどーむ	どなたでも	中学生以下 無料	つどーむ 784-2106

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館となる場合がありますので、事前にご確認ください。